

〔国際会議〕

申請者	名古屋大学大学院情報科学研究科 助教 平山 高嗣	2035008
研究集会名	15th International Conference on Multimodal Interaction (ICMI) Doctoral Consortium	
開催期間	2013年12月9日～12月9日 ICMI2013 本会議は 2013年12月10日～12月13日	
開催場所	Coogee Bay Hotel, Coogee Beach, Sydney	
申請者の役割	Doctoral Consortium Chair	

概要：

ICMI は、多様なモダリティに着目した次世代の知覚的、適応的インタフェースに関する国際会議で、人間と人間のインタラクションの分析、その知見を応用した人間と機械のインタラクションのモデル化、マルチモーダルインタフェースの設計と構築、およびその評価に関わる学術的に極めて質の高い発表が行われる。今回は、27件の口頭発表（採択率20%）、22件のポスター発表（同17%）、3件の基調講演で構成され、サテライトイベントとして、Doctoral Consortium、5つのGrand Challenge、3つのWorkshopが企画された。

派遣従事者が企画したDoctoral Consortiumでは、博士課程の学生がそれぞれの研究成果を発表し、助言者として起用されたHCI分野の著名な産学研究者と“円卓を囲んで”、博士論文の執筆に至るプランについて議論を行った。また、ランチタイムに助言者がそれぞれのキャリアパスを披露し、それを議論の種としてパネルディスカッションを行った。このような活動が若手のコミュニティ作り促進に貢献したことは明らかであった。

発表内容としては、インタラクションの参加者の「個性」「感情」といった内部状態の推定に関するものや、計測モダリティについては「視線」に関するものが多かった。今後これらがHCIの設計における最重要な要素になることが顕在化した。また、コンピュータビジョンやマルチメディア分野などを席卷している機械学習が本分野に浸透していることも明らかであった。人間が関わる系に分析、設計、開発、評価といった様々な視点からアプローチするマルチモーダルインタラクション研究、そしてそれらが会するICMIは、多くのコンピュータサイエンス研究者のターゲットとなり、今後益々盛り上がりを見せるものと期待できる。